参考資料

北九州市自転車利用に関するアンケート調査

令和８年１月
北　九　州　市

目次

調査概要 ····· P01
調査結果 ····· P01
１．　回答者の情報（性別） ····· P01
２．　回答者の情報（年代） ····· P02
３．　回答者の情報（職業） ····· P03
４．　回答者の情報（居住地） ····· P04
５．　回答者の情報（運転免許の保有状況） ····· P05
６．　回答者の情報（自転車の利用頻度） ····· P06
７．　自転車を利用する主な目的、移動距離、移動時間 ····· P07
８．　自転車通勤・通学をしていない理由 ····· P12
９．　自転車利用の健康への効果 ····· P13
１０．自転車利用時の通行位置 ····· P14
１１．自転車利用時の通行位置の理由 ····· P15
１２．自転車賠償保険等の加入状況 ····· P17
１３．自転車の防犯登録義務への認知度・登録の有無 ····· P18
１４．自転車の日常点検の実施 ····· P19
１５．駐輪時の二重施錠の実施 ····· P20
１６．駐輪施設の利用有無 ····· P21
１７．駐輪施設を利用しない理由（駐輪施設を利用しない立場） ····· P22
１８．自転車を利用しない理由 ····· P23
１９．自転車を利用するための条件 ····· P24
２０．自転車の交通安全教育を受けた場所 ····· P25
２１．自転車の交通安全教育が必要だと思う場所 ····· P26
２２．自転車に関するルール・マナーについて遵守している項目 ····· P27
２３．自転車利用者で危険だと感じた行為（歩行者の立場） ····· P28
２４．自転車利用者で危険だと感じた行為（自動車利用者の立場） ····· P29
２５．自転車貸出し施設の認知度、利用経験 ····· P30
２６．サイクリング時に併せて楽しみたいこと ····· P31
２７．サイクリング休憩時に欲しい設備 ····· P32
２８．シェアサイクルサービスの関心度 ····· P33
２９．シェアサイクルサービスを利用する目的 ····· P34
３０．自転車利用促進のために必要だと思う施策 ····· P35
３１．自転車施策の市民満足度 ····· P36

市民の自転車利用状況に関するアンケート調査

(1) 調査概要

調査地域	北九州市
調査対象	市内に在住の 15 歳以上
標本数	3,000 人
標本抽出方法	等間隔無作為抽出法
調査期間	令和 8 年 1 月 14 日(水) ～ 令和 8 年 1 月 31 日(土) 約 2 週間
回答数	931 票（回収率 31.1%）

(2) 調査結果

① 回答者情報

問 1. あなたの性別は？（当てはまるものに○）

回答者の性別は、男性が約 42%、女性が約 58%となっています。

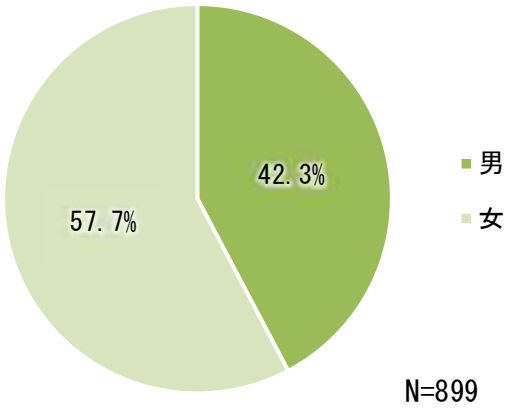


図 回答者の性別

	実数	割合
1 男	380	42.3%
2 女	519	57.7%
回答者数	899	100.0%

表 回答者の性別

問 2. あなたの年代は？（当てはまるものに○）

回答者の年齢は、60 代が 20.2%と最も多く、次いで 70 代が 19.5%、50 代が 17.1%となっています。

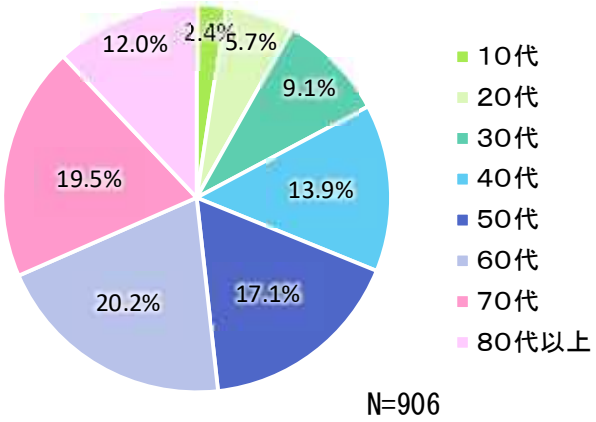


図 回答者の年代

	実数	割合
1　10代	22	2.4%
2　20代	52	5.7%
3　30代	82	9.1%
4　40代	126	13.9%
5　50代	155	17.1%
6　60代	183	20.2%
7　70代	177	19.5%
8　80代以上	109	12.0%
回答者数	906	100.0%

表 回答者の年代

問 3. あなたの職業は？（当てはまるものに〇）

回答者の職業は、「会社員」が約 32%と最も多く、次いで「無職」が約 25%、主婦・主夫が約 16%、パートアルバイトが約 14%となっています。

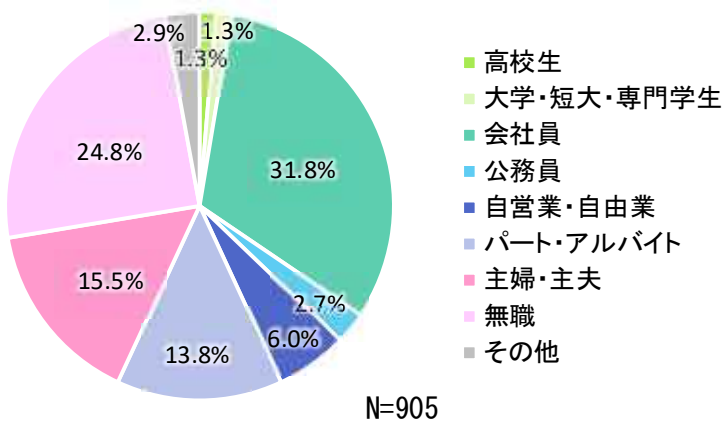


図 回答者の職業

	実数	割合
1 高校生	12	1.3%
2 大学・短大・専門学生	12	1.3%
3 会社員	288	31.8%
4 公務員	24	2.7%
5 自営業・自由業	54	6.0%
6 パート・アルバイト	125	13.8%
7 主婦・主夫	140	15.5%
8 無職	224	24.8%
9 その他	26	2.9%
回答者数	905	100.0%

表 回答者の職業

問 4. あなたの居住地はどこですか？（当てはまるものに○）

居住地は、八幡西区が約 30%と最も多く、次いで小倉南区が約 21%、小倉北区が約 17%となっています。

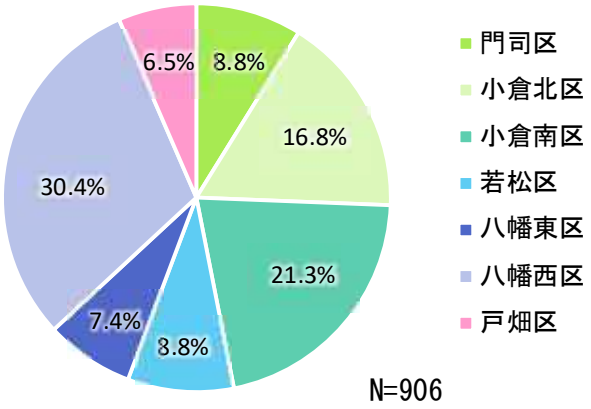


図 回答者の居住地

	実数	割合
1　門司区	80	8.8%
2　小倉北区	152	16.8%
3　小倉南区	193	21.3%
4　若松区	80	8.8%
5　八幡東区	67	7.4%
6　八幡西区	275	30.4%
7　戸畑区	59	6.5%
回答者数	906	100.0%

表 回答者の居住地

問 5. あなたの運転免許の保有状況を教えてください。（該当するものすべてに○）

運転免許の保有状況は、普通自動車免許は約 78%の人が保有しており、免許を持っていない人は約 20%となっています。

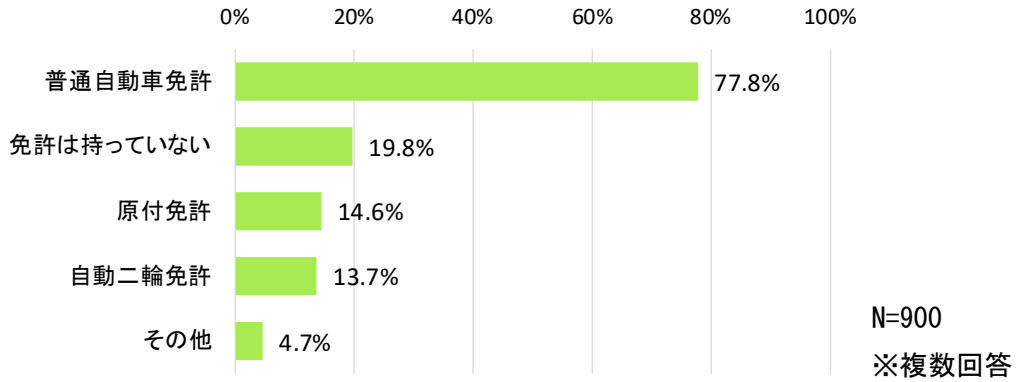


図 運転免許の保有状況

	実数	割合
1 普通自動車免許	700	77.8%
2 免許は持っていない	178	19.8%
3 原付免許	131	14.6%
4 自動二輪免許	123	13.7%
5 その他	42	4.7%
回答者数	900	100.0%

表 運転免許の保有状況

問 6. あなたの自転車の利用頻度を教えてください。（当てはまるものに○）

約 83%の人が自転車を利用しておらず、利用する人約 17%のうち「ほぼ毎日」利用する人は約 5%となっています。

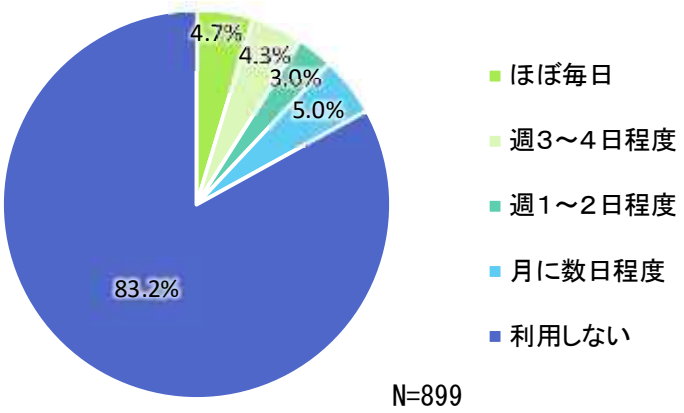


図 自転車の利用頻度

	実数	割合
1 ほぼ毎日	42	4.7%
2 週3～4日程度	39	4.3%
3 週1～2日程度	27	3.0%
4 月に数日程度	45	5.0%
5 利用しない	748	83.2%
回答者数	899	100.0%

表 自転車の利用頻度

② 自転車の利用について　～自転車を利用する方のみ～

問 7. あなたが自転車を利用する主な目的、主な目的地までの概ねの移動距離、移動時間を平日、休日に分けて教えてください。（主な目的１つに○）

平日の自転車利用の目的は、「通勤・通学」「買い物」が約 38%と最も多く、次いで「仕事・業務」「健康づくり」が約 5%となっています。

休日の自転車利用の目的は、「買い物」が約 64%と最も多く、次いで「健康づくり」が約 12%、「通勤・通学」が約 8%であり、平日と比べて、健康づくりや娯楽といった余暇活動での利用が多い傾向にあります。

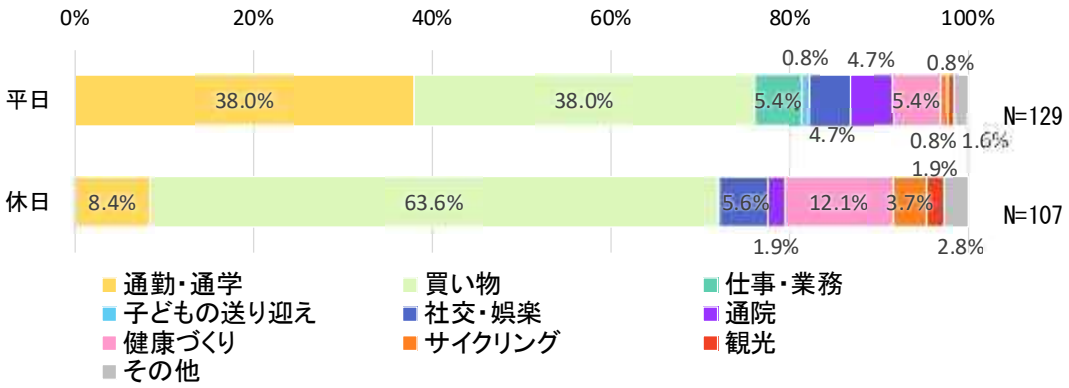


図　自転車を利用する主な目的

		平日		休日	
		実数	割合	実数	割合
1	通勤・通学	49	38.0%	9	8.4%
2	買い物	49	38.0%	68	63.6%
3	仕事・業務	7	5.4%	0	0.0%
4	子どもの送り迎え	1	0.8%	0	0.0%
5	社交・娯楽	6	4.7%	6	5.6%
6	通院	6	4.7%	2	1.9%
7	健康づくり	7	5.4%	13	12.1%
8	サイクリング	1	0.8%	4	3.7%
9	観光	1	0.8%	2	1.9%
10	その他	2	1.6%	3	2.8%
	回答者数	129	100.0%	107	100.0%

表　自転車を利用する主な目的

自転車を利用する際の移動距離は、平日、休日ともに 2～5km 未満の割合が多く、5km 以内の移動が約 79%を占めています。

休日はサイクリングを目的とした利用が多いこともあり、20km 以上を移動する人の割合が平日に比べて多くなっています。

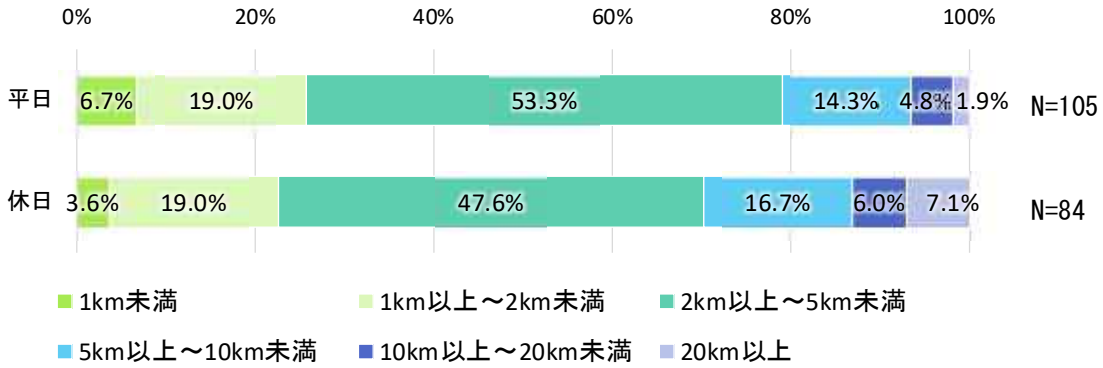


図 自転車を利用する移動距離

	平日		休日	
	実数	割合	実数	割合
1km未満	7	6.7%	3	3.6%
1km以上～2km未満	20	19.0%	16	19.0%
2km以上～5km未満	56	53.3%	40	47.6%
5km以上～10km未満	15	14.3%	14	16.7%
10km以上～20km未満	5	4.8%	5	6.0%
20km以上	2	1.9%	6	7.1%
回答者数	105	100.0%	84	100.0%

表 自転車を利用する移動距離

自転車を利用する際の移動時間は、平日、休日ともに 10～20 分未満の割合が多く、平日は約 43%、休日は約 34%となっています。

休日はサイクリングを目的とした利用が多いこともあり、60 分以上移動する人の割合が平日に比べて多くなっています。

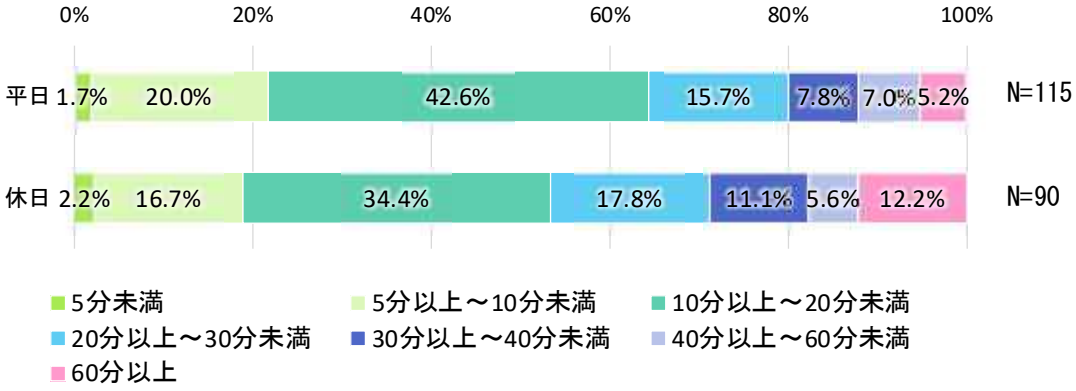


図 自転車を利用する移動時間

	平日		休日	
	実数	割合	実数	割合
5分未満	2	1.7%	2	2.2%
5分以上～10分未満	23	20.0%	15	16.7%
10分以上～20分未満	49	42.6%	31	34.4%
20分以上～30分未満	18	15.7%	16	17.8%
30分以上～40分未満	9	7.8%	10	11.1%
40分以上～60分未満	8	7.0%	5	5.6%
60分以上	6	5.2%	11	12.2%
回答者数	115	100.0%	90	100.0%

表 自転車を利用する移動時間

自転車を利用する目的別の移動距離・移動時間の関係を以下に示します。

平日は多くの目的が、移動距離 5km 以内、移動時間 20 分以内であり、歩いていくには少し遠い距離の移動に自転車が利用されています。ただし、子供の送り迎えでは、非常に短い距離でも利用されています。

また、健康づくりを目的とした自転車利用は、移動距離、移動時間ともに最も長くなっています。

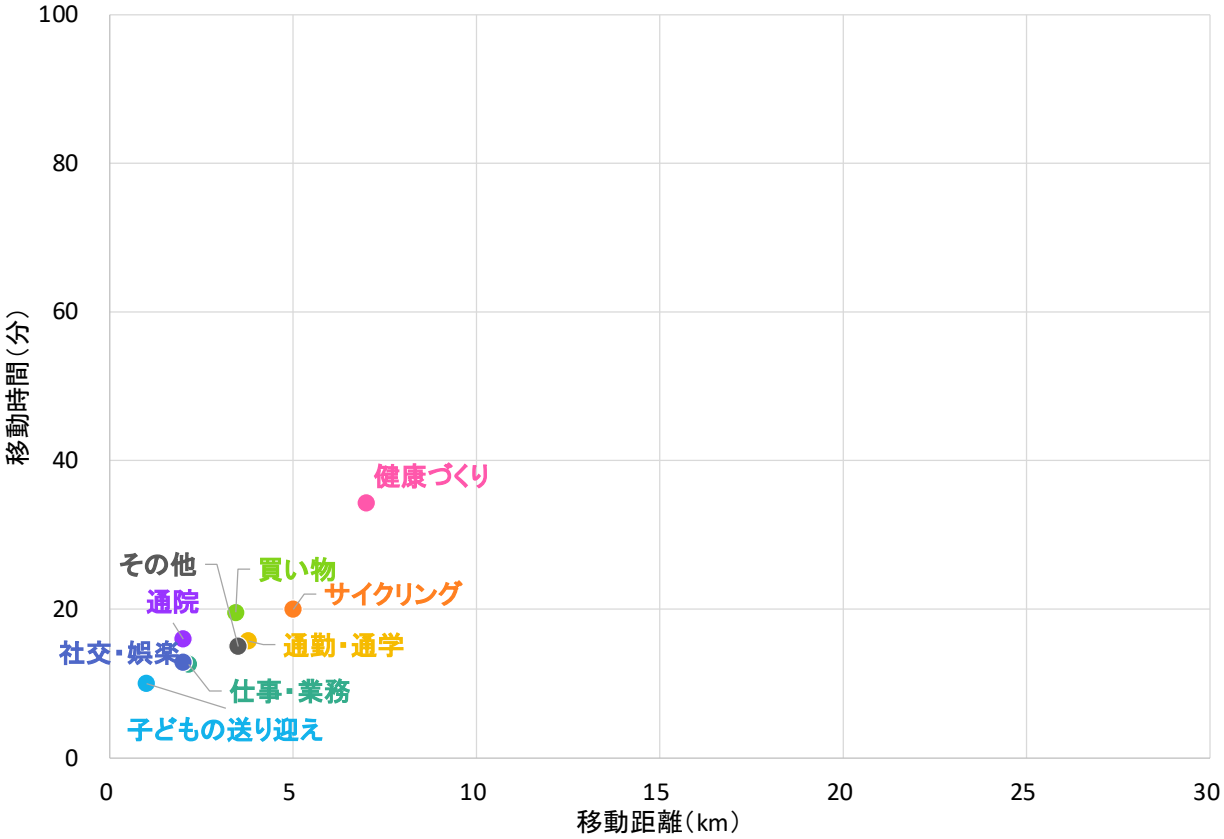


図　自転車の利用目的別平均移動距離・平均移動時間（平日）

	移動距離（km）			移動時間（分）		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大
1　通勤・通学	3.8	0.4	20.0	16	3	40
2　買い物	3.4	0.5	15.0	20	5	70
3　仕事・業務	2.2	0.5	5.0	13	3	40
4　子どもの送り迎え	1.0	1.0	1.0	10	10	10
5　社交・娯楽	2.0	0.8	2.5	13	7	20
6　通院	2.0	1.0	5.0	16	10	30
7　健康づくり	7.0	1.0	25.0	34	10	60
8　サイクリング	5.0	5.0	5.0	20	20	20
9　観光	–	–	–	–	–	–
10　その他	3.5	3.5	3.5	15	15	15

表　自転車の利用目的別平均移動距離・平均移動時間（平日）

休日における「健康づくり」「サイクリング」を目的とした自転車利用は、平日に比べ移動距離・移動時間が大幅に増加しています。

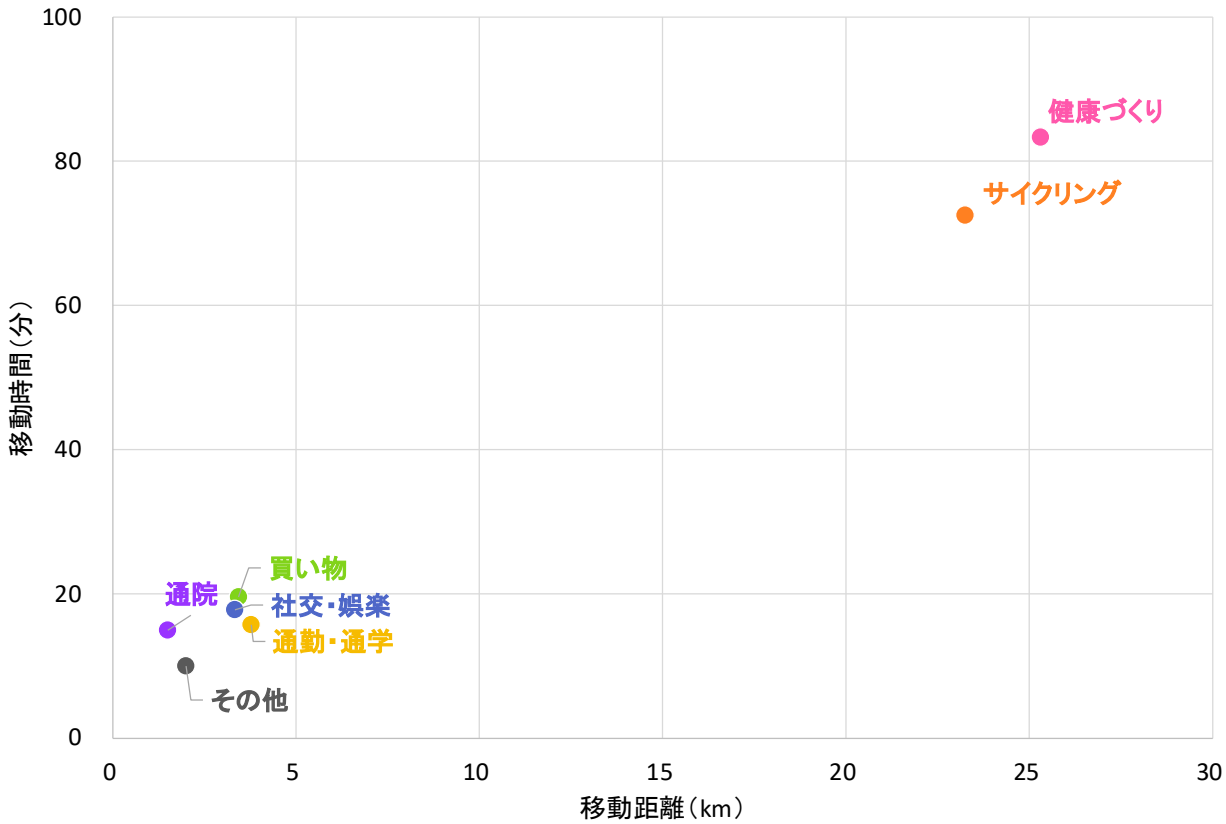


図　自転車の利用目的別平均移動距離・平均移動時間（休日）

	移動距離（km）			移動時間（分）		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大
1　通勤・通学	3.8	1.0	8.0	19	5	40
2　買い物	3.4	0.5	20.0	18	3	70
3　仕事・業務	–	–	–	–	–	–
4　子どもの送り迎え	–	–	–	–	–	–
5　社交・娯楽	3.3	0.8	8.0	18	7	30
6　通院	1.5	1.0	2.0	15	10	20
7　健康づくり	25.3	1.0	100.0	83	8	300
8　サイクリング	23.3	3.0	80.0	73	20	180
9　観光	2.0	2.0	2.0	10	10	10
10　その他	1.5	1.5	1.5	10	10	10

表　自転車の利用目的別平均移動距離・平均移動時間（休日）

問 8.　自転車で通勤・通学をしていない方にお聞きします。
自転車で通勤・通学をしていない理由を教えてください。（当てはまるもの全てに〇）

※集計対象：問 7 で主な利用目的を「通勤・通学をしていない」と回答した方

自転車通勤・通学をしていない理由は、「職場・学校までの距離が遠い」が約 46%と最も多く、次いで「天候に左右される」が約 34%、「自転車が走り易い道路が少ない」が約 20%となっています。

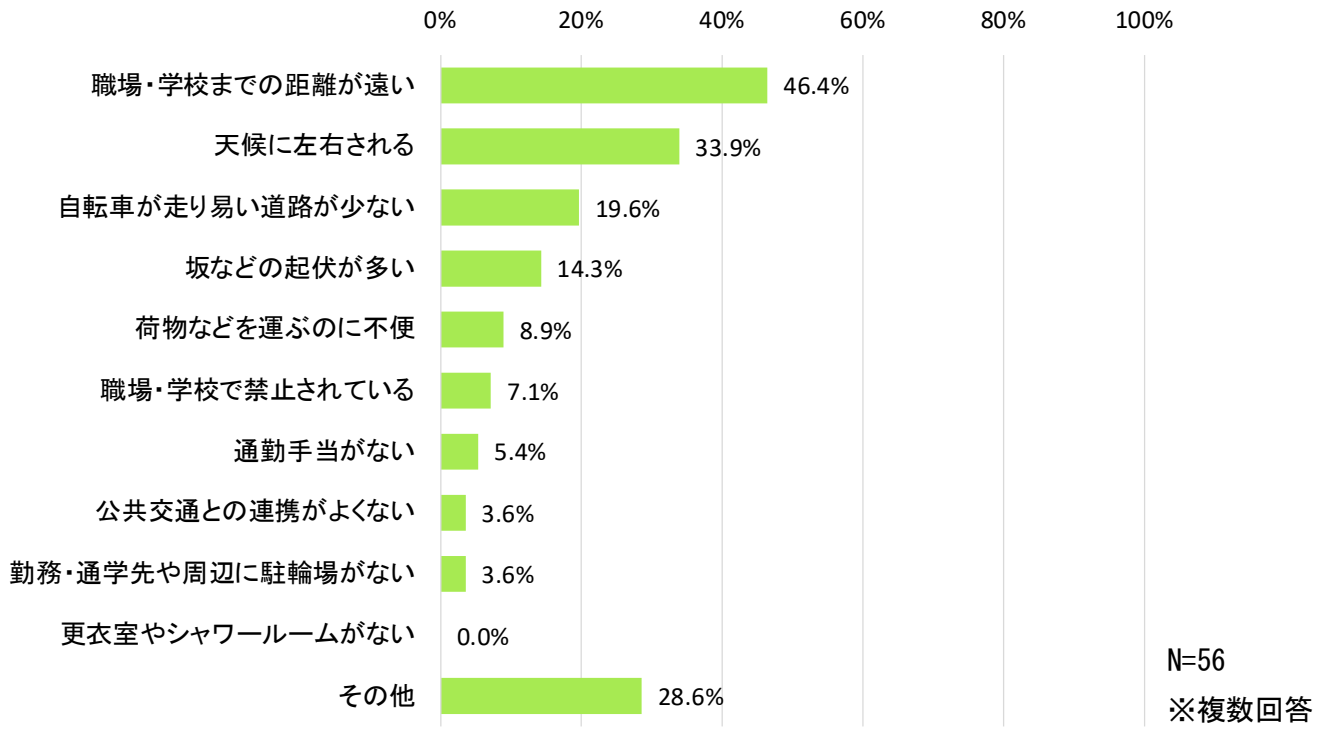


図　自転車で通勤・通学をしていない理由

	実数	割合
1　職場・学校までの距離が遠い	26	46.4%
2　天候に左右される	19	33.9%
3　自転車が走り易い道路が少ない	11	19.6%
4　坂などの起伏が多い	8	14.3%
5　荷物などを運ぶのに不便	5	8.9%
6　職場・学校で禁止されている	4	7.1%
7　通勤手当がない	3	5.4%
8　公共交通との連携がよくない	2	3.6%
9　勤務・通学先や周辺に駐輪場がない	2	3.6%
10　更衣室やシャワールームがない	0	0.0%
11　その他	16	28.6%
回答者数	56	100.0%

表　自転車で通勤・通学をしていない理由

問 9. あなたは自転車を利用することで、どのような健康への効果を感じますか？
（当てはまるもの全てに〇）

健康への効果は、「体力・脚力向上効果」が約 64%と最も多く、次いで「ストレス解消効果」が約 24%、「脂肪燃焼効果」「生活習慣病の改善・予防効果」が、それぞれ約 22%となっています。

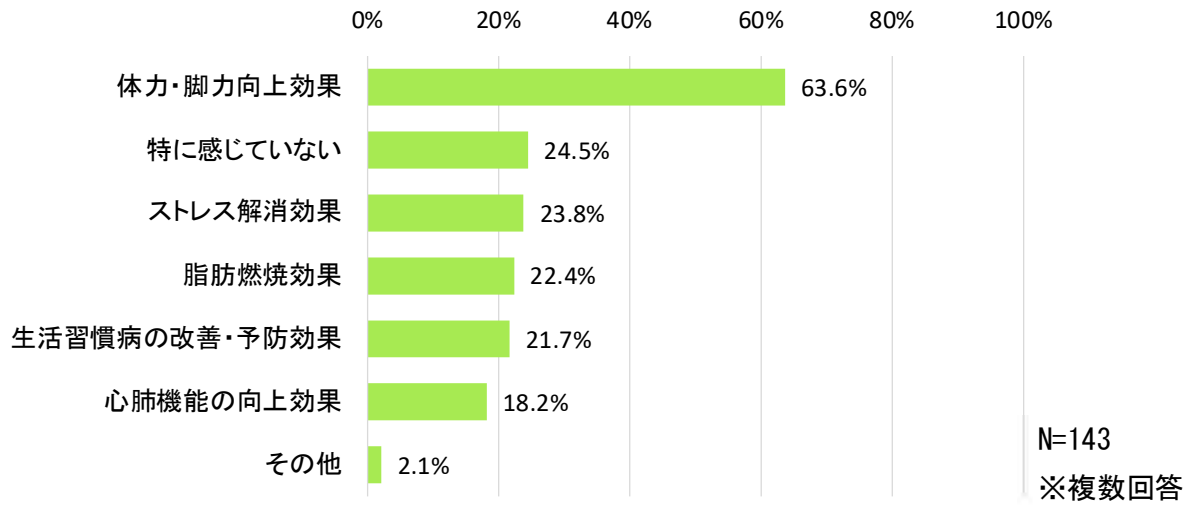


図 自転車利用の健康への効果

	実数	割合
1 体力･脚力向上効果	91	63.6%
2 特に感じていない	35	24.5%
3 ストレス解消効果	34	23.8%
4 脂肪燃焼効果	32	22.4%
5 生活習慣病の改善･予防効果	31	21.7%
6 心肺機能の向上効果	26	18.2%
7 その他	3	2.1%
回答者数	143	100.0%

表 自転車利用の健康への効果

問 10. あなたは自転車を利用するときに、どこを走ることが多いですか？
（当てはまるものに〇）

自転車は車道通行が原則ですが、車道を通行する人は約 30%に留まっています。

また、自転車は歩道を通行する際は、歩道の車道側を通行しなければいけませんが、建物側や真ん中を通行する人が一定数います。

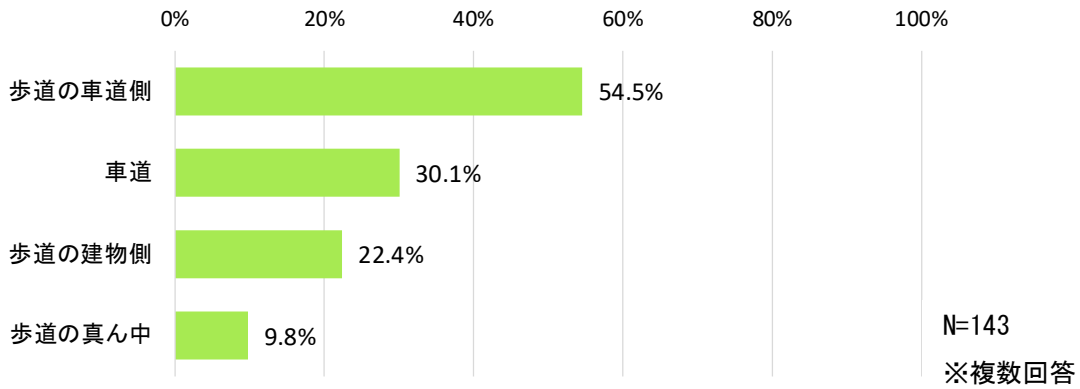


図 自転車利用時の通行位置

	実数	割合
1 歩道の車道側	78	54.5%
2 車道	43	30.1%
3 歩道の建物側	32	22.4%
4 歩道の真ん中	14	9.8%
回答者数	143	100.0%

表 自転車利用時の通行位置

問 11. その理由を教えてください。（当てはまるもの全てに○）

歩道を通行する理由としては、歩道の通行位置によらず、「車道に危険を感じる」、「歩道の方が走り易い」が多くなっています。

一方、車道を通行する理由は、「自転車は車道を通行するものだと思う」が最も多く、次いで「車道は段差が少ない」が多くなっています。

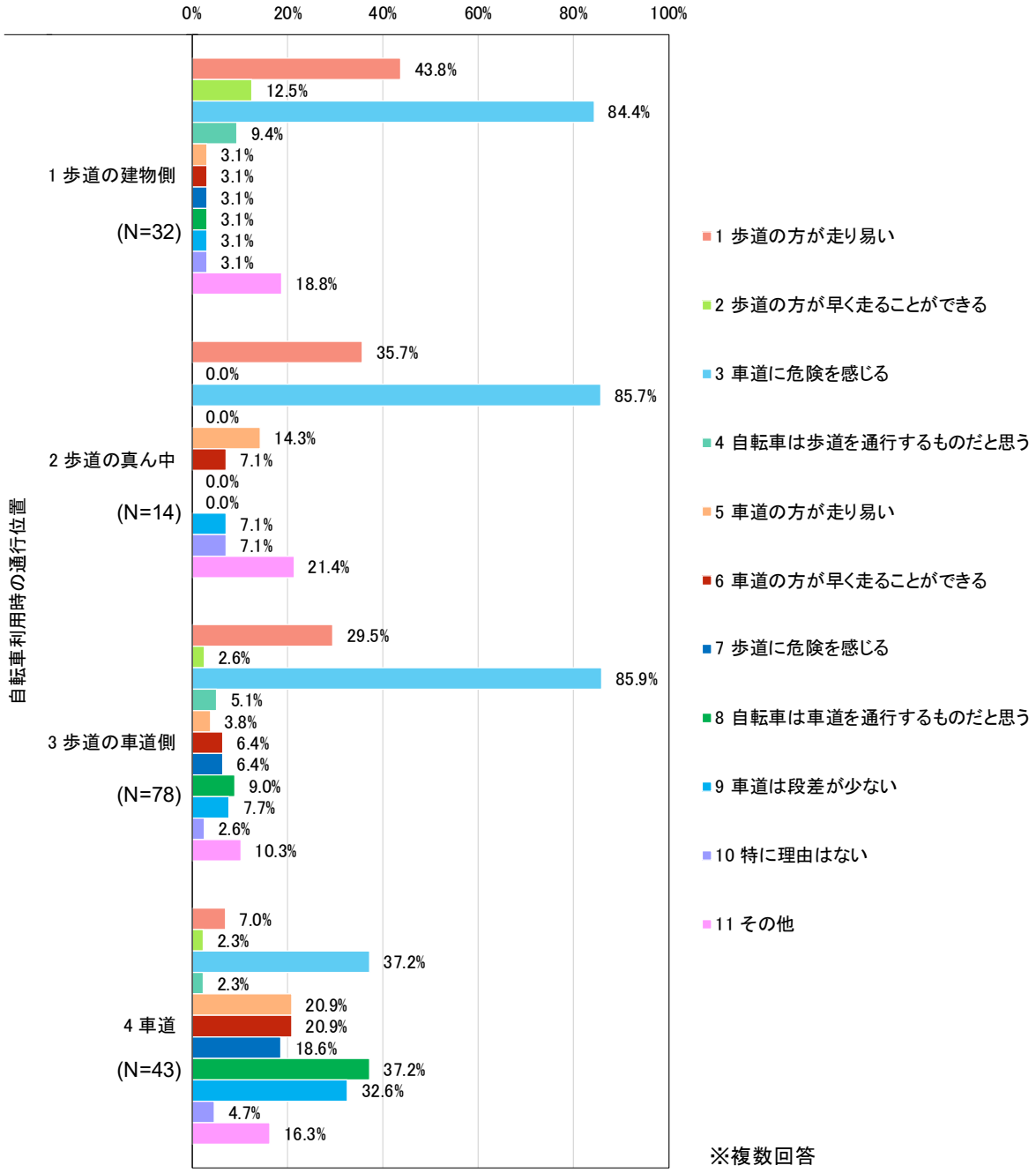


図 自転車利用時の通行位置の理由

	自転車利用時の通行位置			
	1 歩道の建物側	2 歩道の真ん中	3 歩道の車道側	4 車道
1　歩道の方が走り易い	14	5	23	3
2　歩道の方が早く走ることができる	4	0	2	1
3　車道に危険を感じる	27	12	67	16
4　自転車は歩道を通行するものだと思う	3	0	4	1
5　車道の方が走り易い	1	2	3	9
6　車道の方が早く走ることができる	1	1	5	9
7　歩道に危険を感じる	1	0	5	8
8　自転車は車道を通行するものだと思う	1	0	7	16
9　車道は段差が少ない	1	1	6	14
10　特に理由はない	1	1	2	2
11　その他	6	3	8	7
回答者数	32	14	78	43

表　自転車利用時の通行位置の理由（実数）

	自転車利用時の通行位置			
	1 歩道の建物側	2 歩道の真ん中	3 歩道の車道側	4 車道
1　歩道の方が走り易い	43.8%	35.7%	29.5%	7.0%
2　歩道の方が早く走ることができる	12.5%	0.0%	2.6%	2.3%
3　車道に危険を感じる	84.4%	85.7%	85.9%	37.2%
4　自転車は歩道を通行するものだと思う	9.4%	0.0%	5.1%	2.3%
5　車道の方が走り易い	3.1%	14.3%	3.8%	20.9%
6　車道の方が早く走ることができる	3.1%	7.1%	6.4%	20.9%
7　歩道に危険を感じる	3.1%	0.0%	6.4%	18.6%
8　自転車は車道を通行するものだと思う	3.1%	0.0%	9.0%	37.2%
9　車道は段差が少ない	3.1%	7.1%	7.7%	32.6%
10　特に理由はない	3.1%	7.1%	2.6%	4.7%
11　その他	18.8%	21.4%	10.3%	16.3%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表　自転車利用時の通行位置の理由（割合）

問 12. あなたは自転車に乗車中、他人に怪我をさせた場合などに備える自転車賠償保険（自動車保険などに付帯される個人賠償責任保険を含む）に加入していますか？
（当てはまるものに○）

自転車保険に加入している人は約 65%にとどまっています。約 18%の人が自転車保険のことは知っているが加入していません。

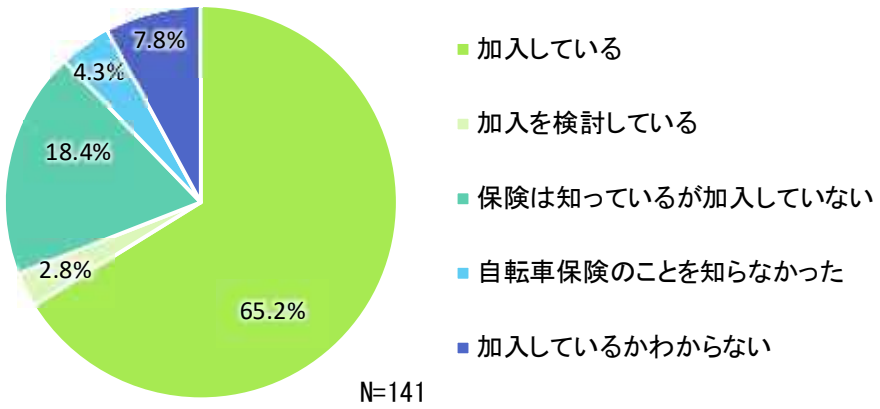


図 自転車賠償保険などの加入

	実数	割合
1 加入している	92	65.2%
2 加入を検討している	4	2.8%
3 保険は知っているが加入していない	26	18.4%
4 自転車保険のことを知らなかった	6	4.3%
5 加入しているかわからない	11	7.8%
回答者数	141	100.0%

表 自転車賠償保険などの加入

問 13. 法律や条例では自転車の防犯登録が義務付けられていますが、あなたは制度を知っていますか？また、あなたの自転車は防犯登録していますか？（当てはまるものに○）

自転車の防犯登録の認知度は、約 92%と高くなっています。一方で、約 23%の人が登録していません。

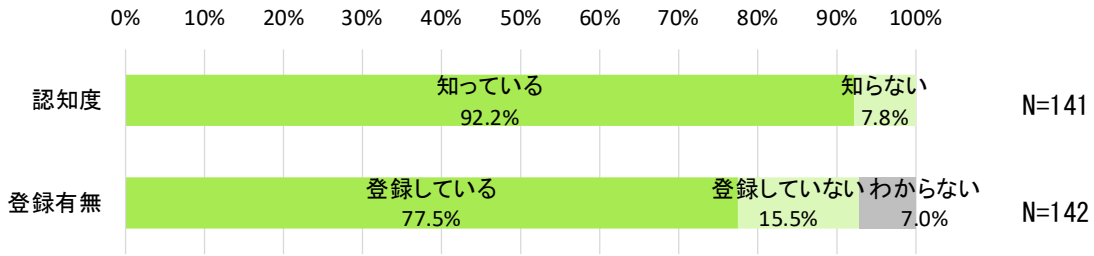


図 自転車の防犯登録制度認知度・登録有無

	実数	割合
1 知っている	130	92.2%
2 知らない	11	7.8%
回答者数	141	100.0%

表 自転車の防犯登録制度認知度

	実数	割合
1 登録している	110	77.5%
2 登録していない	22	15.5%
3 わからない	10	7.0%
回答者数	142	100.0%

表 自転車の防犯登録制度登録有無

問 14. あなたは自転車の日常点検（タイヤの消耗、ブレーキの引きしろの確認など）を行っていますか？（当てはまるものに○）

自転車の日常点検は、約 78%の人が実施しています。

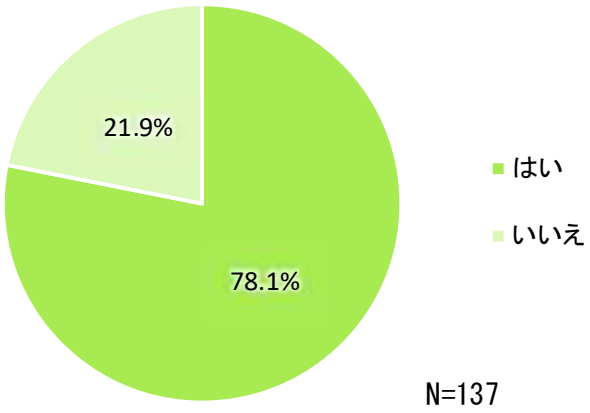


図 自転車の日常点検

	実数	割合
1 はい	107	78.1%
2 いいえ	30	21.9%
回答者数	137	100.0%

表 自転車の日常点検

問 15. あなたは自転車を駐輪するときに二重施錠をしていますか？（当てはまるものに○）

二重施錠は、約 60%の人が実施していません。

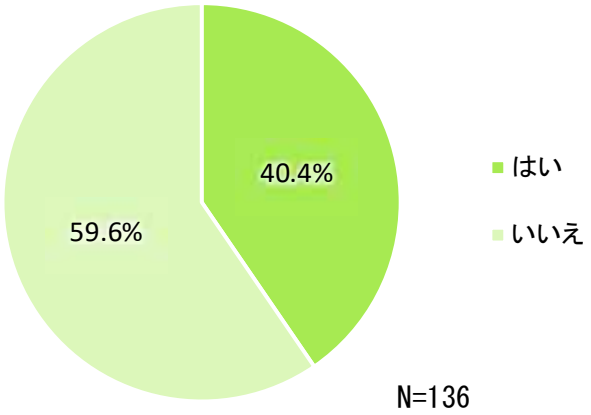


図 自転車駐輪時の二重施錠

	実数	割合
1 はい	55	40.4%
2 いいえ	81	59.6%
回答者数	136	100.0%

表 自転車駐輪時の二重施錠

③ 駐輪施設の利用について　～自転車を利用する方のみ～

問 16.　あなたは普段、自転車を利用するときに駐輪施設を利用しますか？
（当てはまるものに○）

約 87%の人が駐輪施設を利用しています。

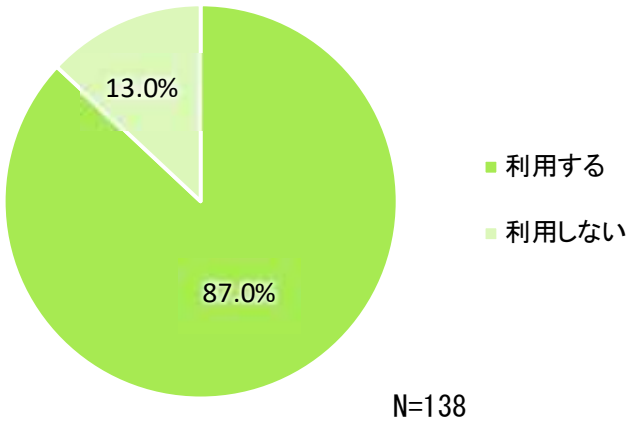


図 駐輪施設の利用

	実数	割合
1　利用する	120	87.0%
2　利用しない	18	13.0%
回答者数	138	100.0%

表 駐輪施設の利用

問 17. 問 16 で「２. 利用しない」と回答した方にお聞きします。
あなたが駐輪施設を利用しない理由を教えてください。（当てはまるもの全てに〇）

駐輪施設を利用しない理由は、「目的地またはその近辺に駐輪施設が無い」が約 67%と最も多く、次いで多かった「邪魔にならない場所なら停めても良いと思う」、「長い時間停めない」がそれぞれ約 17%となっています。

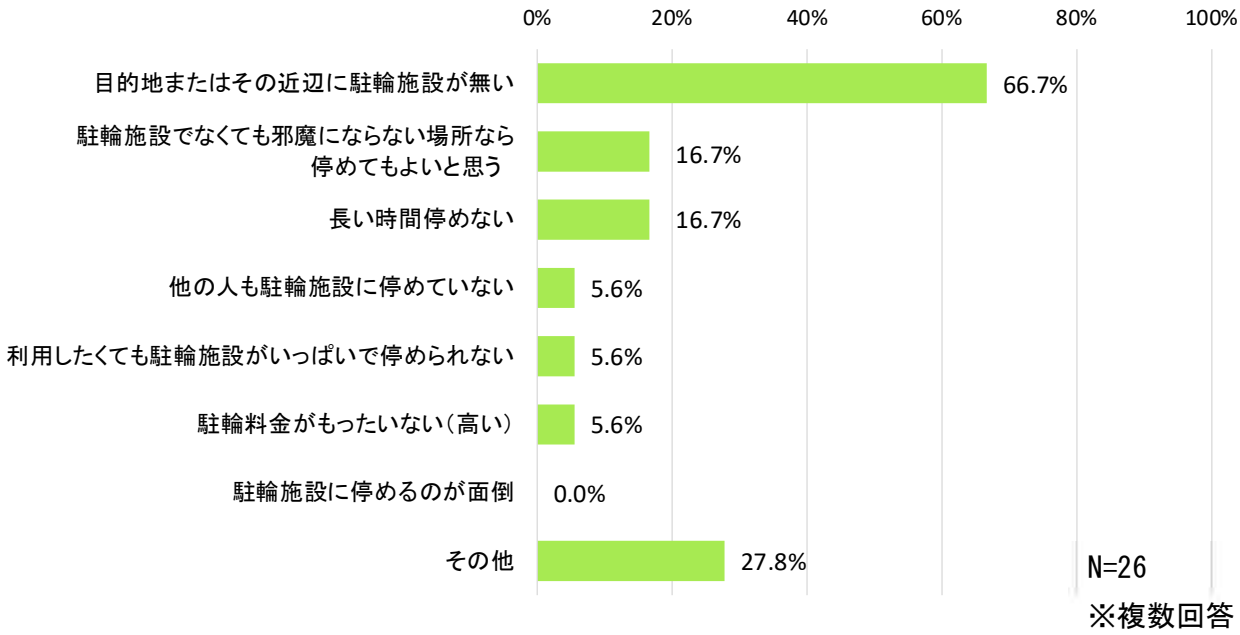


図 駐輪施設を利用しない理由

	実数	割合
1 目的地またはその近辺に駐輪施設が無い	12	66.7%
2 駐輪施設でなくても邪魔にならない場所なら停めてもよいと思う	3	16.7%
3 長い時間停めない	3	16.7%
4 他の人も駐輪施設に停めていない	1	5.6%
5 利用したくても駐輪施設がいっぱいで停められない	1	5.6%
6 駐輪料金がもったいない（高い）	1	5.6%
7 駐輪施設に停めるのが面倒	0	0.0%
8 その他	5	27.8%
回答者数	26	100.0%

表 駐輪施設を利用しない理由

④ 自転車の利用について　～自転車を利用しない方のみ～

問 18.　あなたが自転車を利用しない理由を教えてください。（当てはまるもの全てに○）

自転車を利用しない理由は、「自分専用の自転車を所有していない」が約 63%と最も多く、次いで「車を利用する」が約 56%、「公共交通機関を利用する」が約 33%となっています。

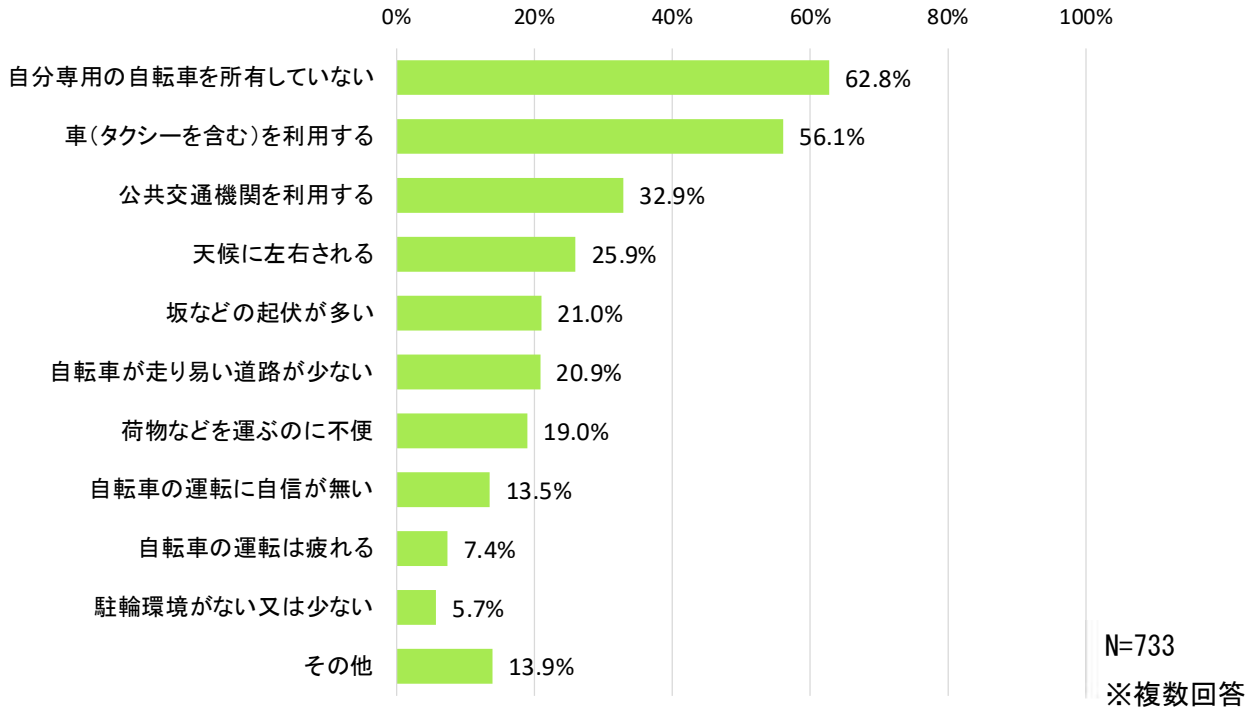


図 自転車を利用しない理由

	実数	割合
1 自分専用の自転車を所有していない	460	62.8%
2 車（タクシーを含む）を利用する	411	56.1%
3 公共交通機関を利用する	241	32.9%
4 天候に左右される	190	25.9%
5 坂などの起伏が多い	154	21.0%
6 自転車が走り易い道路が少ない	153	20.9%
7 荷物などを運ぶのに不便	139	19.0%
8 自転車の運転に自信が無い	99	13.5%
9 自転車の運転は疲れる	54	7.4%
10 駐輪環境がない又は少ない	42	5.7%
11 その他	102	13.9%
回答者数	733	100.0%

表 自転車を利用しない理由

問 19. あなたはどのようになれば自転車を利用したいと思いますか？
（当てはまるもの全てに○）

自転車を利用するための条件は、「自転車が安全で走り易い道路が増えれば利用したい」が約38%と最も多く、次いで「目的地が自転車で行ける距離にあれば利用したい」が約 30%、「電動アシスト付き自転車があれば利用したい」が約 27%となっています。

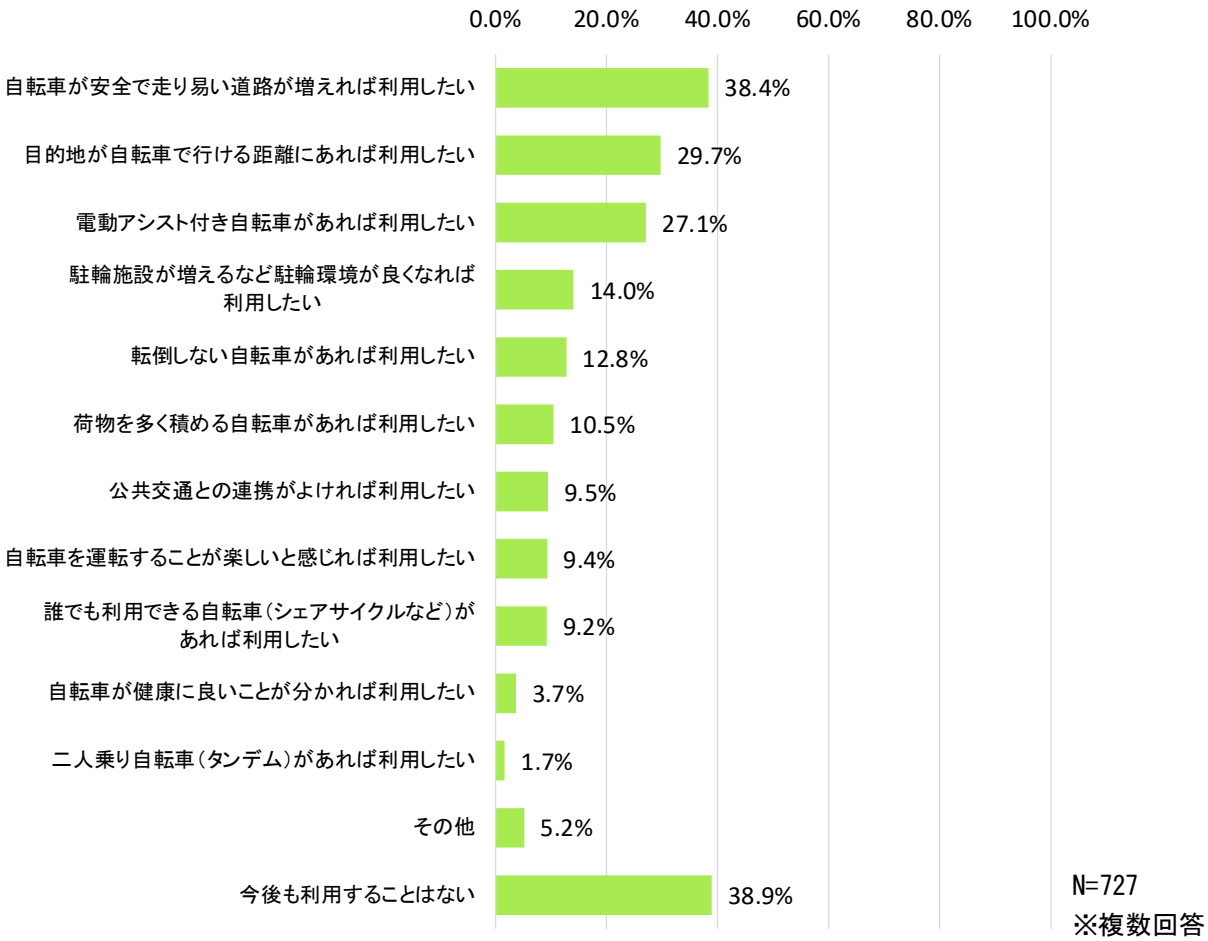


図 自転車を利用するようになる条件

	実数	割合
1 自転車が安全で走り易い道路が増えれば利用したい	279	38.4%
2 目的地が自転車で行ける距離にあれば利用したい	216	29.7%
3 電動アシスト付き自転車があれば利用したい	197	27.1%
4 駐輪施設が増えるなど駐輪環境が良くなれば利用したい	102	14.0%
5 転倒しない自転車があれば利用したい	93	12.8%
6 荷物を多く積める自転車があれば利用したい	76	10.5%
7 公共交通との連携がよければ利用したい	69	9.5%
8 自転車を運転することが楽しいと感じれば利用したい	68	9.4%
9 誰でも利用できる自転車（シェアサイクルなど）があれば利用したい	67	9.2%
10 自転車が健康に良いことが分かれば利用したい	27	3.7%
11 二人乗り自転車（タンデム）があれば利用したい	12	1.7%
12 その他	38	5.2%
13 今後も利用することはない	283	38.9%
回答者数	727	100.0%

表 自転車を利用するようになる条件

⑤ 自転車の交通ルール・安全意識について

問 20. あなたがこれまでに自転車の交通安全に関する教育を受けた場所はどこですか？
（当てはまるもの全てに〇）

交通安全教育を受けた場所は、「小学校・中学校」が約 42%と最も多くなっています。一方で、約 30%の人が「教育を受けたことがない」と答えています。

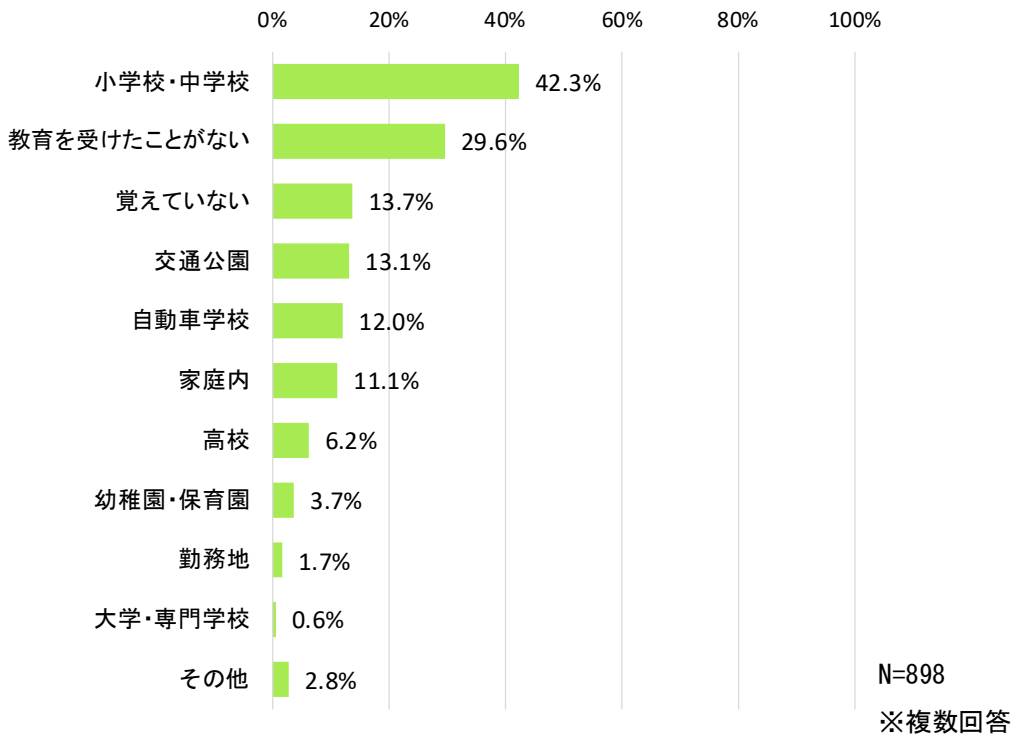


図 交通安全教育を受けた場所

	実数	割合
1 小学校・中学校	380	42.3%
2 教育を受けたことがない	266	29.6%
3 覚えていない	123	13.7%
4 交通公園	118	13.1%
5 自動車学校	108	12.0%
6 家庭内	100	11.1%
7 高校	56	6.2%
8 幼稚園・保育園	33	3.7%
9 勤務地	15	1.7%
10 大学・専門学校	5	0.6%
11 その他	25	2.8%
回答者数	898	100.0%

表 交通安全教育を受けた場所

問 21. あなたがこれから自転車の交通安全に関する教育が必要であると思う場所はどこですか？（当てはまるもの全てに〇）

自転車の安全教育が必要だと思う場所については、「小学校・中学校」が約 89%と最も高く、次いで「高校」が約 62%となっており、学校での教育が求められています。

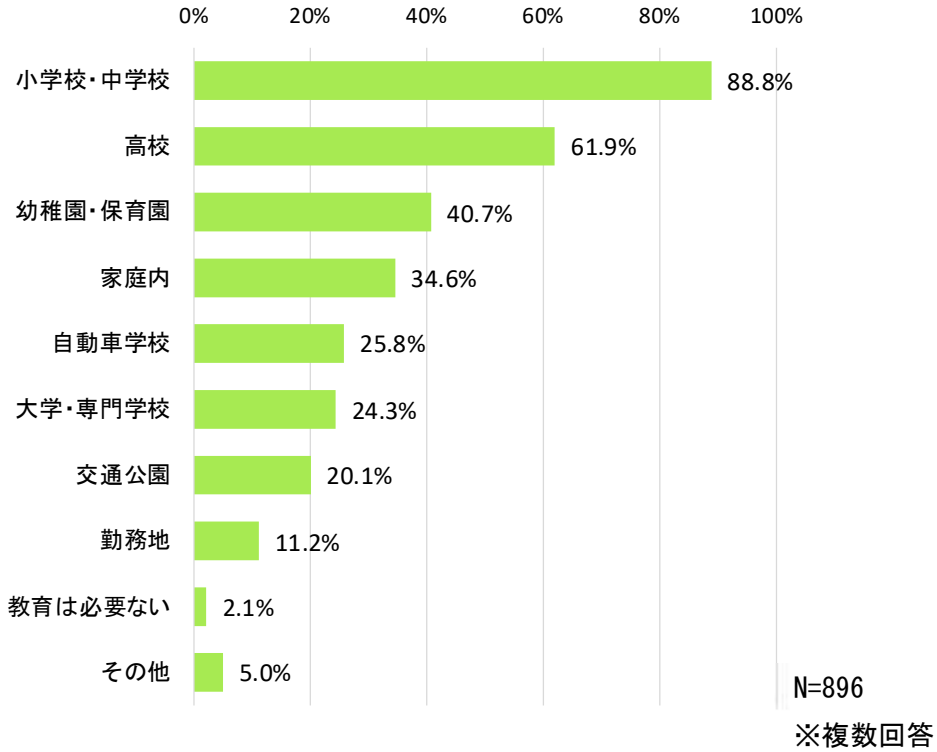


図 交通安全教育が必要であると思う場所

	実数	割合（無回答除く）
1 小学校･中学校	796	88.8%
2 高校	555	61.9%
3 幼稚園･保育園	365	40.7%
4 家庭内	310	34.6%
5 自動車学校	231	25.8%
6 大学･専門学校	218	24.3%
7 交通公園	180	20.1%
8 勤務地	100	11.2%
9 教育は必要ない	19	2.1%
10 その他	45	5.0%
回答者数	896	100.0%

表 交通安全教育が必要であると思う場所

問 22. あなたが自転車に関するルール・マナーについて守っている項目を教えてください。（当てはまるもの全てに○）

自転車に関するルール・マナーについて守っている項目は、「飲酒運転をしない」が約 88%、「スマートフォン・携帯電話を使いながら運転をしない」が約 86%、「夜間はライトを点灯する」が約 82%となっています。一方、ヘルメットの着用は、約 40%となっています。

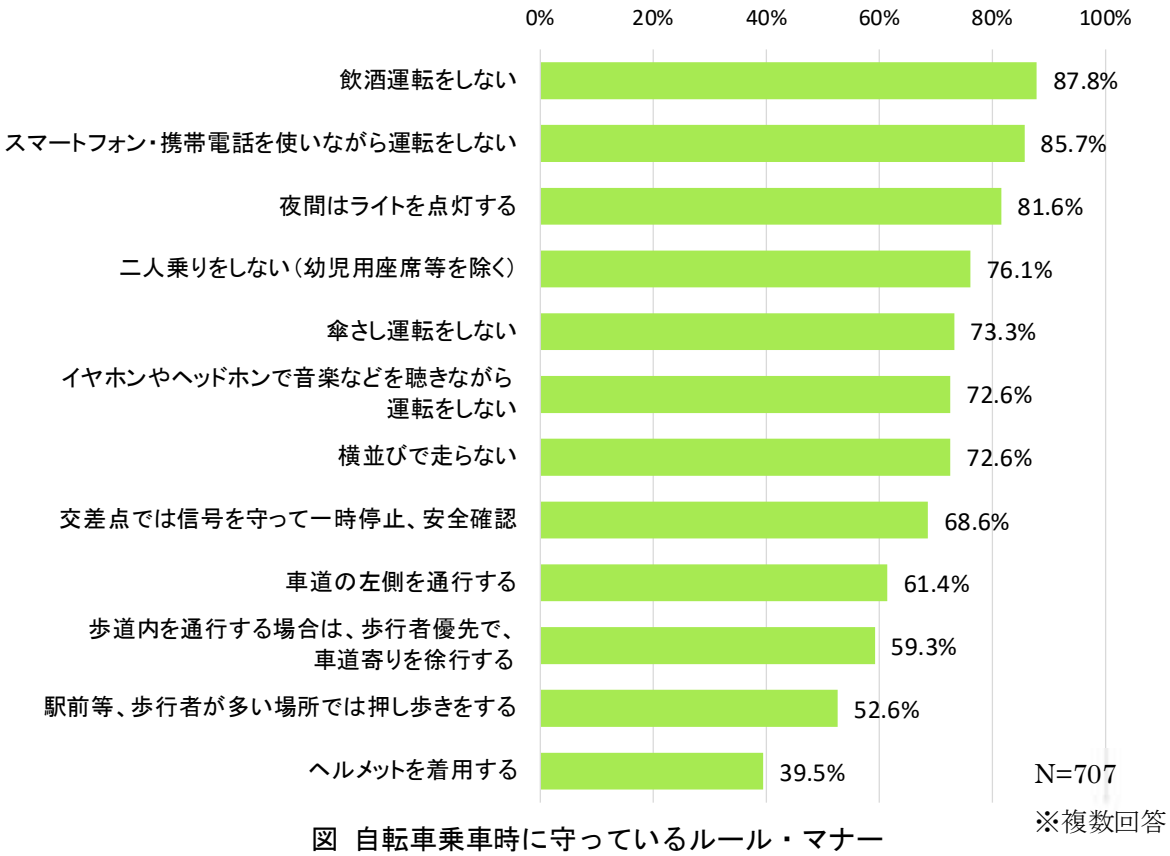


図 自転車乗車時に守っているルール・マナー

	実数	割合
1 飲酒運転をしない	621	87.8%
2 スマートフォン・携帯電話を使いながら運転をしない	606	85.7%
3 夜間はライトを点灯する	577	81.6%
4 二人乗りをしない（幼児用座席等を除く）	538	76.1%
5 傘さし運転をしない	518	73.3%
6 イヤホンやヘッドホンで音楽などを聴きながら運転をしない	513	72.6%
7 横並びで走らない	513	72.6%
8 交差点では信号を守って一時停止、安全確認	485	68.6%
9 車道の左側を通行する	434	61.4%
10 歩道内を通行する場合は、歩行者優先で車道寄りを徐行する	419	59.3%
11 駅前等、歩行者が多い場所では押し歩きをする	372	52.6%
12 ヘルメットを着用する	279	39.5%
回答者数	707	100.0%

表 自転車乗車時に守っているルール・マナー

問 23. あなたが歩いていて自転車利用者の行為で危ないと感じたことがあるものはありますか。（当てはまるもの全てに○）

歩行者の立場で危ないと感じた自転車の行為については、「歩道でスピードを緩めずに走る」が約 84%と最も高く、次いで「携帯電話の操作や音楽を聴きながら走る」が約 80%、「交差点や曲がり角で一時停止や減速をせずに急に飛び出す」が約 77%となっています。

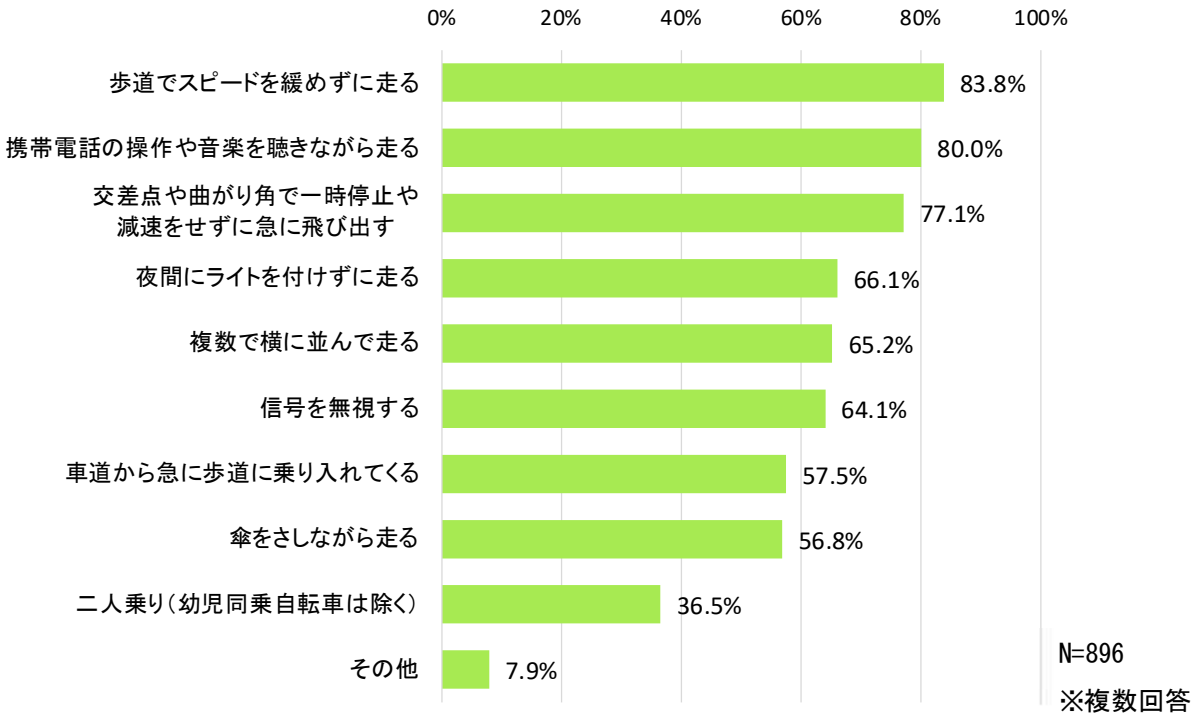


図 歩行時に危険と感じた自転車利用者の行為

	実数	割合
1 歩道でスピードを緩めずに走る	751	83.8%
2 携帯電話の操作や音楽を聴きながら走る	717	80.0%
3 交差点や曲がり角で一時停止や減速をせずに急に飛び出す	691	77.1%
4 夜間にライトを付けずに走る	592	66.1%
5 複数で横に並んで走る	584	65.2%
6 信号を無視する	574	64.1%
7 車道から急に歩道に乗り入れてくる	515	57.5%
8 傘をさしながら走る	509	56.8%
9 二人乗り（幼児同乗自転車は除く）	327	36.5%
10 その他	71	7.9%
回答者数	896	100.0%

表 歩行時に危険と感じた自転車利用者の行為

問 24. あなたが車に乗っていて自転車利用者の行為で危ないと感じたことがあるものはありますか。（当てはまるもの全てに○）

自動車運転者の立場で危ないと感じた自転車の行為については、「歩道から急に車道に飛び出す」が約 75%、「携帯電話の操作や音楽を聞くなどの「ながら運転」をして走る」が約 74%、「交差点や曲がり角で一時停止や減速をせずに急に飛び出す」が約 73%となっています。

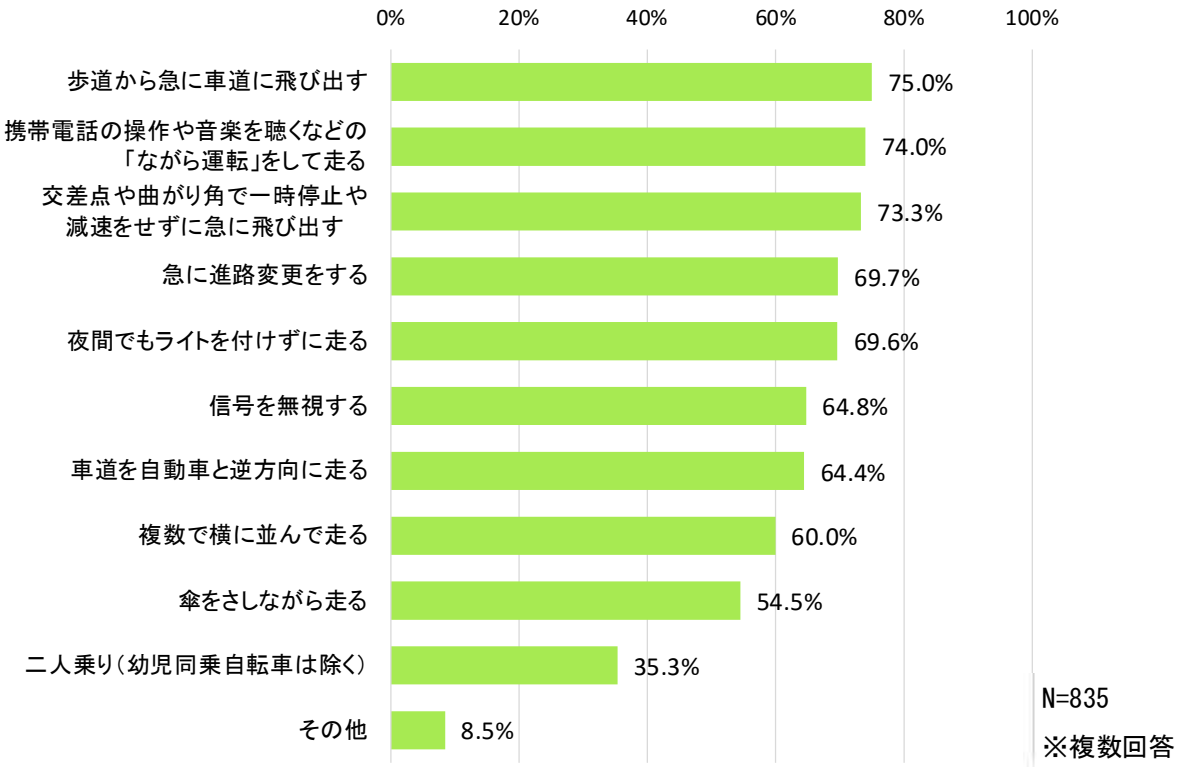


図 自動車乗車時に危険と感じた自転車利用者の行為

	実数	割合
1 歩道から急に車道に飛び出す	626	75.0%
2 携帯電話の操作や音楽を聴くなどの「ながら運転」をして走る	618	74.0%
3 交差点や曲がり角で一時停止や減速をせずに急に飛び出す	612	73.3%
4 急に進路変更をする	582	69.7%
5 夜間でもライトを付けずに走る	581	69.6%
6 信号を無視する	541	64.8%
7 車道を自動車と逆方向に走る	538	64.4%
8 複数で横に並んで走る	501	60.0%
9 傘をさしながら走る	455	54.5%
10 二人乗り（幼児同乗自転車は除く）	295	35.3%
11 その他	71	8.5%
回答者数	835	100.0%

表 自動車乗車時に危険と感じた自転車利用者の行為

⑥ 自転車を活用した観光について

問 25. 北九州市には、レクリエーション活動の振興を目的に運営している「自転車貸出し施設（①河内サイクリングセンター、②響灘緑地サイクリングターミナルがあります。あなたが知っている施設、利用したことがある施設を教えて下さい。（当てはまるものに○）

自転車貸出し施設の認知度は、いずれも半数以上が知らない状況となっています。
また、利用状況についても、河内サイクリングセンターの利用したことがある方は、約 8%、響灘緑地サイクリングターミナルの利用したことがある方は、約 26%に留まっています。

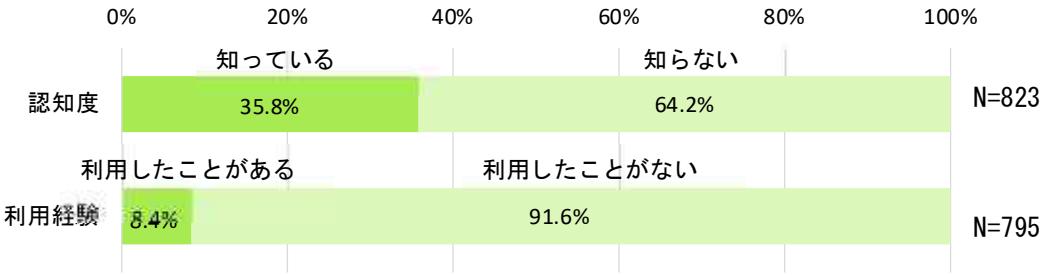


図 河内サイクリングセンターの認知度・利用経験

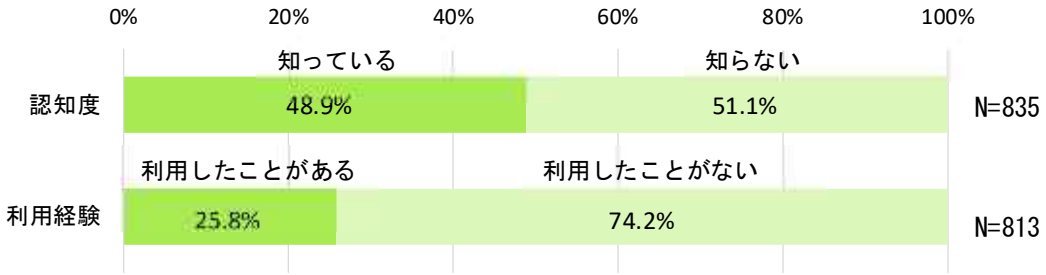


図 響灘緑地サイクリングターミナルの認知度・利用経験

〈認知度〉

	実数	割合
1 知っている	295	35.8%
2 知らない	528	64.2%
回答者数	823	100.0%

〈利用経験 〉

	実数	割合
1 利用したことがある	67	8.4%
2 利用したことがない	728	91.6%
回答者数	795	100.0%

表 河内サイクリングセンターの認知度・利用経験

〈認知度〉

	実数	割合
1 知っている	408	48.9%
2 知らない	427	51.1%
回答者数	835	100.0%

〈利用経験 〉

	実数	割合（無回答除く）
1 利用したことがある	210	25.8%
2 利用したことがない	603	74.2%
回答者数	813	100.0%

表 響灘緑地サイクリングターミナルの認知度・利用経験

問 26. あなたは自転車でサイクリングなどをするときに、併せてどのようなことを楽しみたいと思いますか？（当てはまるもの全てに○）

サイクリングをするときに併せて楽しみたいことは、「観光地巡り」が約 63%と最も多く、次いで「飲食」が 39%、「買い物」が約 36%となっています。

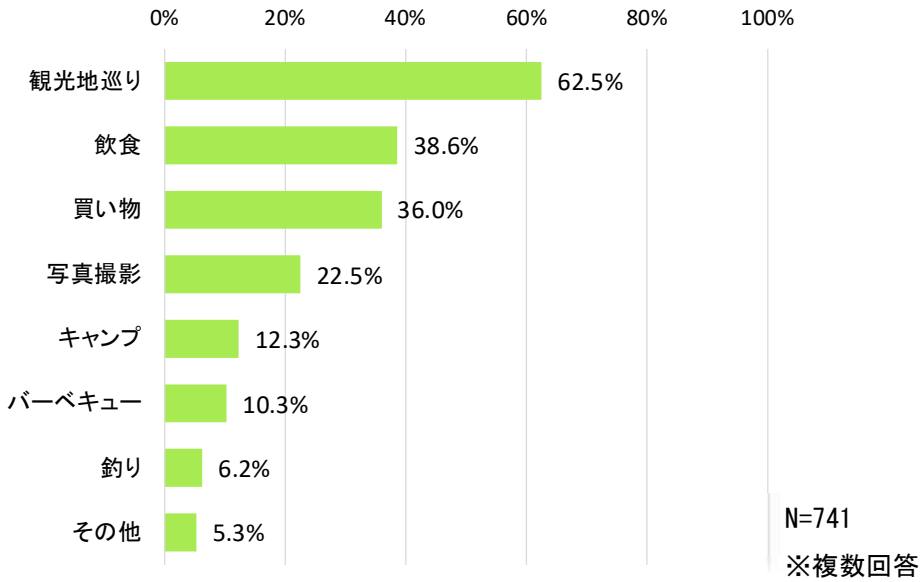


図 サイクリング時に併せて楽しみたいこと

	実数	割合
1 観光地巡り	463	62.5%
2 飲食	286	38.6%
3 買い物	267	36.0%
4 写真撮影	167	22.5%
5 キャンプ	91	12.3%
6 バーベキュー	76	10.3%
7 釣り	46	6.2%
8 その他	39	5.3%
回答者数	741	100.0%

表 サイクリング時に併せて楽しみたいこと

問 27. あなたは自転車でサイクリングなどをするときに休憩するのであれば、その場所にどのような設備がほしいと思いますか？（当てはまるもの全てに〇）

休憩施設に欲しい設備は、「トイレ」が約 90%と最も高く、次いで「飲料水の提供設備」が約 61%となっています。

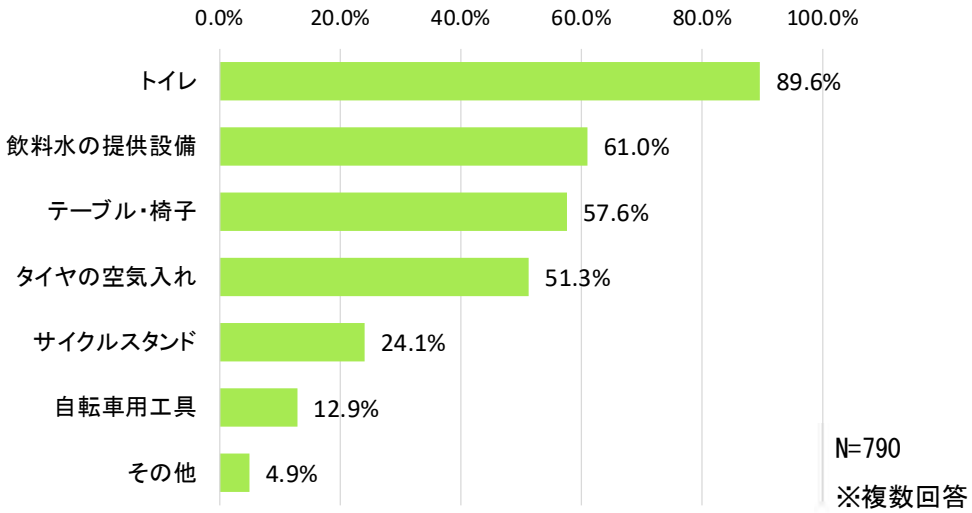


図 サイクリング休憩時にほしい設備

	実数	割合
1 トイレ	708	89.6%
2 飲料水の提供設備	482	61.0%
3 テーブル・椅子	455	57.6%
4 タイヤの空気入れ	405	51.3%
5 サイクルスタンド	190	24.1%
6 自転車用工具	102	12.9%
7 その他	39	4.9%
回答者数	790	100.0%

表 サイクリング休憩時にほしい設備

⑦ 自転車の共同利用について

問 28. 北九州市には、小倉都心部や小倉南区モノレール沿線に「ミクチャリ」というシェアサイクルサービスがあります。こうしたシェアサイクルが身近にあれば利用したいと思いますか？（当てはまるものに○）

シェアサイクルサービスへの関心度については、「利用してみたい」が約 41%となっています。

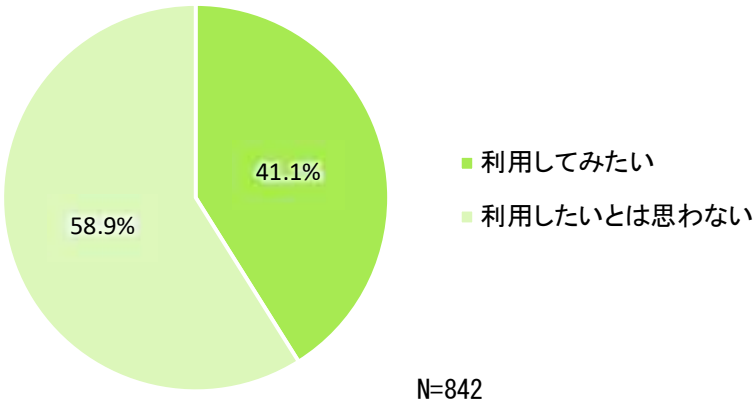


図 シェアサイクルサービスの関心度

	実数	割合
1　利用してみたい	346	41.1%
2　利用したいとは思わない	496	58.9%
回答者数	842	100.0%

表 シェアサイクルサービスの関心度

問 29. 問 28 で「１. 利用したい」と回答した方にお聞きします。
あなたはシェアサイクルサービスをどのような時に利用したいと思いますか？
（当てはまるもの全てに〇）

シェアサイクルサービスを利用したい人の利用目的は、「買物・食事など」が約 64%、「観光・レジャー」が約 60%と高くなっています。

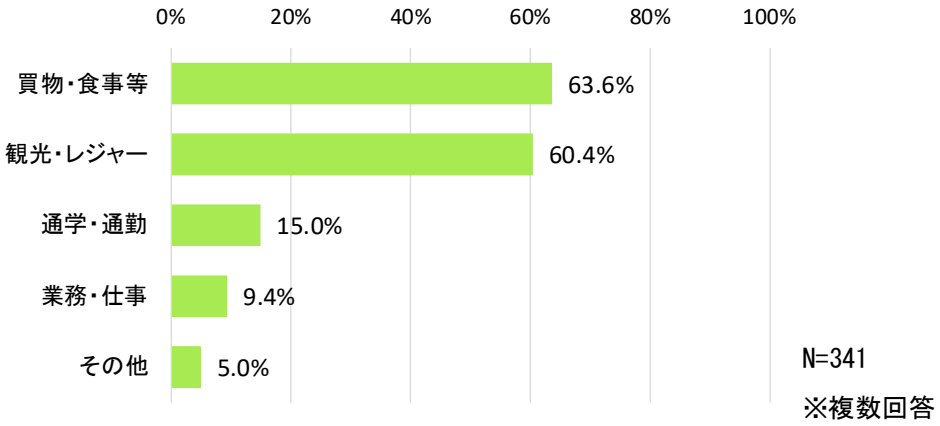


図 シェアサイクルサービスの利用目的

	実数	割合
1　買物・食事等	217	63.6%
2　観光・レジャー	206	60.4%
3　通学・通勤	51	15.0%
4　業務・仕事	32	9.4%
5　その他	17	5.0%
回答者数	341	100.0%

表 シェアサイクルサービスの利用目的

⑧ 自転車の活用推進策について

問 30.　あなたが自転車利用を促進するために必要だと思う施策を教えてください。
（特に必要だと思うもの 3 つに○）

自転車利用を促進するために必要だと思う施策は、「自転車通行空間の整備」が約 72%と最も高く、「自転車利用のルールやマナーの啓発」が約 52%、「学校における交通安全教育の促進」が約 43%、「駐輪施設の整備」が約 42%となっています。

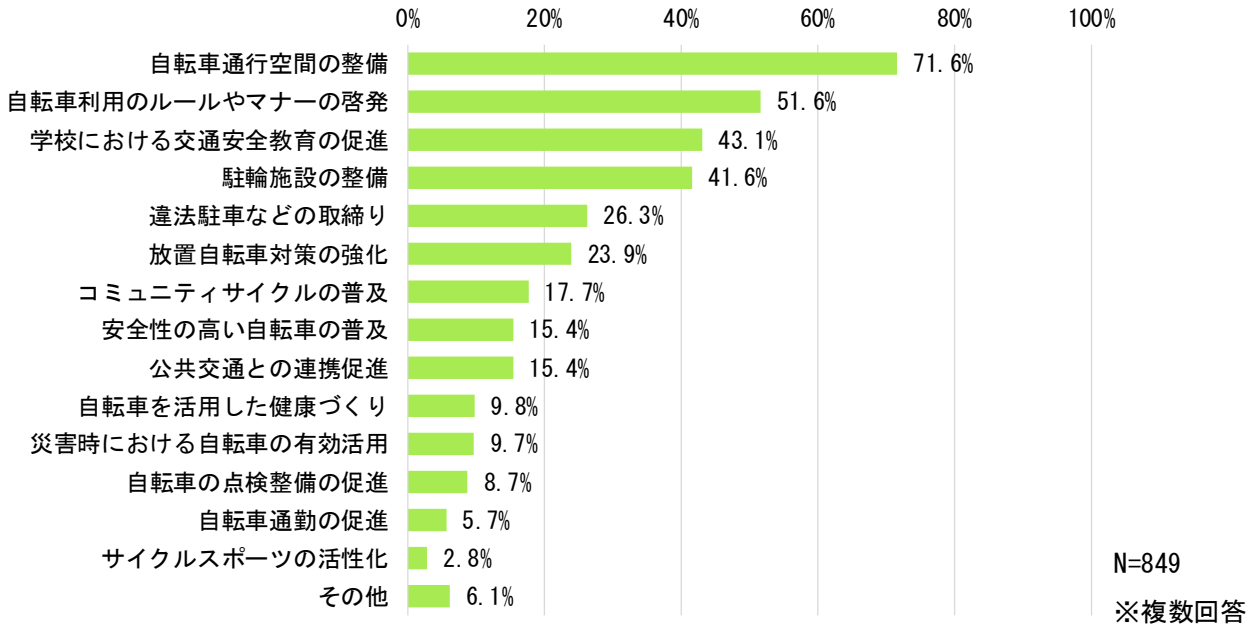


図　自転車利用を促進するための施策

	実数	割合
1　自転車通行空間の整備	608	71.6%
2　自転車利用のルールやマナーの啓発	438	51.6%
3　学校における交通安全教育の促進	366	43.1%
4　駐輪施設の整備	353	41.6%
5　違法駐車などの取締り	223	26.3%
6　放置自転車対策の強化	203	23.9%
7　コミュニティサイクルの普及	150	17.7%
8　安全性の高い自転車の普及	131	15.4%
9　公共交通との連携促進	131	15.4%
10　自転車を活用した健康づくり	83	9.8%
11　災害時における自転車の有効活用	82	9.7%
12　自転車の点検整備の促進	74	8.7%
13　自転車通勤の促進	48	5.7%
14　サイクルスポーツの活性化	24	2.8%
15　その他	52	6.1%
回答者数	849	100.0%

表　自転車利用を促進するための施策

⑨ 自転車施策の満足度

問 31. 自転車のあるライフスタイル、自転車を活用したまちづくりに対するあなたの満足度について教えてください。（当てはまるものに〇）

自転車のまちづくりに関する満足度は、最高値の「駐輪施設の利用しやすさ」でも 4.0 点（10 点満点）にとどまり、他項目はすべて 4 点未満となるなど、総じて低い水準にあります。



図 自転車施策の満足度平均

項目	満足度平均
①自転車のまちとしての評価	3.8
②自転車通行空間の安全性・快適性	3.4
③自転車通行空間の整備延長	3.5
④自転車通行空間の幅	3.4
⑤自転車通行空間の管理状態	3.6
⑥駐輪施設の利用しやすさ	4.0
⑦自転車と公共交通との連携	3.8
⑧自転車利用者のルール・マナーの遵守	3.2
⑨自転車利用に関する教育や交通安全活動	3.7
⑩自転車に関するイベントの開催状況	3.6

表 自転車施策の満足度平均

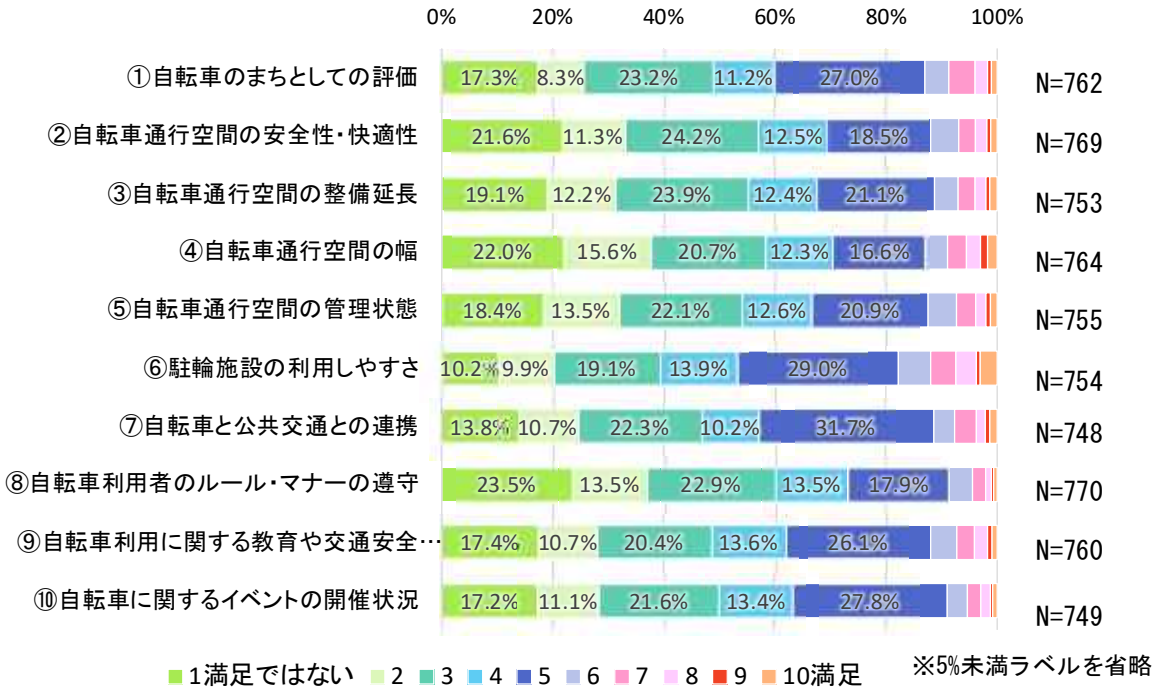


図 自転車施策の満足度

	1（満足ではない）	2	3	4	5	6	7	8	9	10（満足）	計
①自転車のまちとしての評価	17.3%	8.3%	23.2%	11.2%	27.0%	4.3%	4.7%	2.2%	0.7%	1.0%	100.0%
②自転車通行空間の安全性・快適性	21.6%	11.3%	24.2%	12.5%	18.5%	5.1%	3.0%	2.1%	0.7%	1.2%	100.0%
③自転車通行空間の整備延長	19.1%	12.2%	23.9%	12.4%	21.1%	4.2%	3.1%	2.0%	0.7%	1.3%	100.0%
④自転車通行空間の幅	22.0%	15.6%	20.7%	12.3%	16.6%	3.9%	3.4%	2.5%	1.3%	1.7%	100.0%
⑤自転車通行空間の管理状態	18.4%	13.5%	22.1%	12.6%	20.9%	5.2%	3.4%	1.9%	0.8%	1.2%	100.0%
⑥駐輪施設の利用しやすさ	10.2%	9.9%	19.1%	13.9%	29.0%	5.8%	4.5%	3.7%	0.7%	3.1%	100.0%
⑦自転車と公共交通との連携	13.8%	10.7%	22.3%	10.2%	31.7%	3.7%	3.9%	1.6%	0.8%	1.3%	100.0%
⑧自転車利用者のルール・マナーの遵守	23.5%	13.5%	22.9%	13.5%	17.9%	4.3%	2.3%	1.0%	0.4%	0.6%	100.0%
⑨自転車利用に関する教育や交通安全活動	17.4%	10.7%	20.4%	13.6%	26.1%	4.7%	3.2%	2.4%	0.8%	0.9%	100.0%
⑩自転車に関するイベントの開催状況	17.2%	11.1%	21.6%	13.4%	27.8%	3.6%	2.4%	1.7%	0.4%	0.8%	100.0%

表 自転車施策の満足度

	1（満足ではない）	2	3	4	5	6	7	8	9	10（満足）	回答者数
①自転車のまちとしての評価	132	63	177	85	206	33	36	17	5	8	762
②自転車通行空間の安全性・快適性	166	87	186	96	142	39	23	16	5	9	769
③自転車通行空間の整備延長	144	92	180	93	159	32	23	15	5	10	753
④自転車通行空間の幅	168	119	158	94	127	30	26	19	10	13	764
⑤自転車通行空間の管理状態	139	102	167	95	158	39	26	14	6	9	755
⑥駐輪施設の利用しやすさ	77	75	144	105	219	44	34	28	5	23	754
⑦自転車と公共交通との連携	103	80	167	76	237	28	29	12	6	10	748
⑧自転車利用者のルール・マナーの遵守	181	104	176	104	138	33	18	8	3	5	770
⑨自転車利用に関する教育や交通安全活動	132	81	155	103	198	36	24	18	6	7	760
⑩自転車に関するイベントの開催状況	129	83	162	100	208	27	18	13	3	6	749

表 自転車施策の満足度　割合